

丈夫屋二子薬局グループの渡辺陸子会長



10年前に無菌調剤に 取り組んだきっかけ

丈夫屋二子薬局グループの本拠地は、東急田園都市線の溝の口駅から徒歩3分の地にあるビル（1階が二子グループ発祥の地になる二子薬局溝の口店）の2階。

処方箋調剤を主体に、差別化商品の物販も得意とする調剤薬局チェーンだ。

溝の口店を拠点に、川崎市高津区内に8店舗、横浜市内の2店舗に加えてケアセンターを運営する。近年、ニーズが増えている在宅医療分野に早くから参加してきた。

「川崎市の介護協議会で知り合いの看護師さんから、『輸液は誰が手掛けるのですか』と聞かれましたので、思わず『薬局でしょう』と発言したことが、無菌調剤室を設置するきっかけでした」（渡辺陸子会長）

10年ほど前のことだった。

「発言した以上は、絶対にやり抜くと決意しましたが、最初からそんなに儲からないとは思っていません。無菌調剤室を導入した以上は、患者さんとご家族をサポートさせていただきたいと、チラシを作成し医療機関に配布しました」（渡辺会長）

2011年、一人の薬剤師が在宅担当として丈夫屋に入社した。明治薬科大学出身で製薬メーカーの営業を経て、病院に20年間勤務していた、



在宅担当の橋本秀文さんと今泉幸久さん

現在、在宅責任者として活躍する橋本秀文さんである。

毎週2回（月曜と木曜）無菌 水曜と金曜に輸液を配達

橋本さんが、最初は無菌調剤を手掛けたのは69歳の胃を全摘した男性患者だった。

「初めての患者さんは、印象深い方でした。患者さん宅へ高カロリー輸液をお届けしていましたが、残念ながら3年前に73歳で亡くなりました。HPNをされたことは大変意義のあることです。

4年間にわたり亡くなるまで、ご家族は、『患者とともに快適な生活を過ごすことできた』と大変喜んで

れたのは78歳の男性患者。

「消化器不全の患者さんでしたが、退院して自宅に戻りたい希望を持っていました。

そのためには高カロリー輸液が不可欠でしたので、私たちがサポートさせていただきました。

薬剤師の業務って、調剤だけでなく患者さん宅を訪問して自宅でご家族とともに過ごす期間を、できるだけ快適に過ごすことができるように全力を注ぐことです」

橋本さんの1週間のスケジュールは、医療機関からのHIT処方箋を応需し無菌調剤は月曜と木曜日、火



橋本さんら4人で手掛ける無菌調剤

本さん。在宅担当者は4名。忙しい日々だ。

「当社の会長から、『在宅医療、とくに無菌調剤は、それこそライフワークのようなもの。ずっと続けていきたい』とお聞きしました。私は、本当に良い会社に就職できたと思っています」と話す橋本さん。

「どんなときでも、患者さんとご家族、地域の皆さんの健康のお役に立てる薬剤師でありたいと思っています。そのためにも、常に研鑽を怠

ることなく前進したい」（橋本さん）

一枚一枚の処方箋を大事にして、患者さんが存在する限り薬局をあげて迎えることをモットーとしてきた丈夫屋二子薬局グループ。

病院から住み慣れた自宅に戻りたい患者は少なくない。多職種連携による医療と介護への提供ニーズに対応して、暮らしをサポートする薬局・薬剤師は、在宅医療を望む患者が存在する限り、これからも増えていくに違いない。

連載 HIT(家庭における輸液療法) 最前線レポート ③

人はさまざまな出会いがある。その出会いがきっかけで、新しい業務に携わることは少なくない。神奈川県内に関与する経営者は、会合で出会った看護師の一言で、無菌調剤室を設置しHIT最前線に参入した。1989年に設立し、神奈川県横浜市と川崎市内に10店舗を運営する有限会社丈夫屋二子薬局グループの渡辺陸子会長だ。無菌調剤と訪問活動に取り組む丈夫屋メディカル薬局のケースを取り上げた。

印象深い4年間にわたりサポートし 快適な生活を過ごした男性患者さん

川崎市高津区 丈夫屋メディカル薬局

いただきました。

病院から自宅に戻ると、患者さんは大変ラックスできますし、それに最初に手掛けた患者さんの延命を、4年間にわたりサポートすることができて、薬剤師冥利に尽きます」橋本さんは、初めての患者との交流を鮮明に覚えているという。

もう一人、橋本さんが紹介してく

暉と金曜日に患者宅へ輸液を届けている。

年末のスケジュールはあわただしい。土曜、日曜の出動もある。

つい最近では、がん末期の患者をサポートした橋本さん。

「病院から自宅に戻るためには、輸液だけでなく麻薬製剤も必要なため届けました。ところが、医療機関から再度緊急な連絡があり、麻薬製剤追加の処方箋が届き、即対応しました。」

こうした連絡には、夜分でも早朝でも無菌調剤室で薬剤を調製して届けています。在宅医療は、医療機関から要請があれば私たちは、患者宅を訪問することは再三。でもやりがいがあります」

4名体制で日々の無菌調剤 ニーズに応える

無菌調剤室で在宅患者のための栄養療法や疼痛緩和に、医療機関からのHIT処方箋に応じて高カロリー輸液や麻薬製剤を提供し7年になる橋



丈夫屋メディカル薬局の処方箋受付カウンター



化粧品の販売も得意とする丈夫屋二子薬局グループ